

## 第一章 つながり

熊本県益城町立益城中央小学校

校長 岩下 育男 氏

### 「子供と地域のつながり」

- ・ 2016年4月の熊本地震で甚大な被害、多くの児童とその家族が被害を受けた。
- ・ CS7年目と地域とのつながりがあり、避難所運営には多くのボランティアが参加。  
「体育館避難所は地域で運営するから、学校は子供たちのことを」
- ・ 地域の方々が避難所にキッズスペースを設置、子供のことを考えた避難所運営に。
- ・ 地震の影響もあってか、学力の落ち込みも見られた。このことを受け、学校運営協議会において、これまでの丸付けのみのボランティアから、なぜできていないかを子供たちに伝えるということを確認、ボランティア活動の質が高まり、学力も向上してきている。
- ・ 三年生総合の時間で、地域の地震状況を地域の方々と一緒に記録。
- ・ 延べ3000名ボランティアが参加、年一回ボランティアの集いを開催、子供たちから日ごろの感謝の気持ちを伝えている。涙を流される方も。
- ・ 世界の人たちが応援してくれる、いろいろな人が支えてくれることを実感している。
- ・ 西日本豪雨災害の際、子供たちから「自分たちにできることがある」と提案があり募金活動を行う。

#### メッセージ

- 子供たちの元気と笑顔が地域を繋ぐ
- 子供たちの夢と希望が世界を繋ぐ

#### ポイント

- ・ 想定外の状況、意思決定する場面で委員に意見をもらっている。これは普段から意思決定を行うことができているからこそである。

